



いわき

意和氣の力と心でチャレンジ!
Chance Change Charge Challenge

由利本荘市立岩城中学校
No. 57
平成30年3月1日

※岩城中学校の学校評価No.2を載せます。今年度を反省し、来年度に生かしていきたいと思えます！

岩城中学校学校評価シート No.2

評価領域

生徒指導

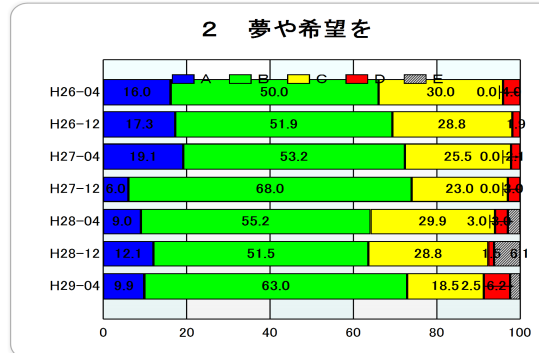
重点目標

人間性を磨き、たくましく生きる生徒の育成

現 状

内容(基準)	時 期	A	B	C	D	E	評点
2 お子さんは、夢や希望をもって生活していると思いますか？	H26-04	16.0	50.0	30.0	4.0		2.8
	H26-12	17.3	51.9	28.8	1.9		2.9
	H27-04	19.1	53.2	25.5	2.1		2.8
	H27-12	6.0	68.0	23.0	3.0		2.8
	H28-04	9.0	55.2	29.9	3.0	3.0	2.6
	H28-12	12.1	51.5	28.8	1.5	6.1	2.6
	H29-04	9.9	63.0	18.5	6.2	2.5	2.7

(A:はっきりもっている B:もっている C:あまりもっていない D:もっていない E:わからない)



生活面の悩みを抱えている生徒は多い。夢や希望の面で、もっていない・わからない(C+D+E評価)と感じている保護者は3割弱である。キャリア教育等さまざまな取組はしているが、夢や希望をもてないと捉えている保護者の割合をできる限り少なくしたい。保護者はもちろんのこと、学校運営協議会や様々な機関と連携・協力し、寄り添う指導で、生徒一人一人が夢や希望をもち、安心感を得られる学校づくりに励みたい。

様々な取組を通して、学校生活に満足感と充実感が高まってきていると感じる。学校不適応(不登校傾向)の生徒については少しずつ改善の方向が見えてきているが、課題は多いと捉えている。「いじめ・悩み調査」等を定期的(月1回)に実施し、早期発見と即時対応を目指してきている。ICTの発達による生徒指導的に深刻な問題も多くなってきている。全体としては学校生活に対する満足度が数字的には向上しているが、学習面や

P 計画

具体的な目標

2: お子さんは、夢や希望をもって生活していると思いますか? A+B評価を80%以上を目指す。(E評価「わからない」0%を目指す。)

目標達成のための方策

- 夢や希望・目標を明確にし、生きる力・氣力高め、計画的なキャリア教育を推進する。
- 生徒指導の3機能(自己存在感を与え、共感的人間関係を育成し、自己決定の場を設定する)を生かした学級づくり、授業づくり、生徒会等の推進
- 岩城中の伝統「3本柱とノーチャイム制」に誇りをもたせ、人間としての成長を目指した活動を推進する。
- 諦めない気持ち「氣力」と活力に満ちた心と身体をつくる健康安全教育を推進する。4つのCH[Chance Change Charge Challenge]
- 和やかなあいさつと爽やかな返事運動を推進する。
- 「意和氣チャレンジプラン」で小中連携の意識化を図り、生徒・保護者への啓発をする。
- 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を推進し、家庭地域の力と心を双方向的に生かす。

具体的な取組状況

- 岩城中の伝統である3本柱「黙想の時間」「自問清掃」「全校武道」と「ノーチャイム制」を維持・継続・深化しようと生徒会も機能させながら取り組んでいる。
- 【明るく、いつでも、先に、続ける】「あいさつ」運動を生徒会も機能させながら啓発し、今年度は返事も強化してきた。
- 3機能を意識しながら、生徒に寄り添い、教え、導くように取り組んでいる。
- 『意和氣の力と心でチャレンジ!』をスローガンとして、『氣力』を前面に出し、ことある毎に、4つのCH(チャンス、チェンジ、チャージ、チャレンジ)を意識化し志気を高めている。
- 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)と地域運営協議会を推進し、「意和氣チャレンジプラン」を改善作成・全戸配布した。年2回の「小中見学会」を充実させ、小中連携の意識化を図り、家庭・地域の力と心の啓発をしている。
- 多様な生活アンケート(生活・いじめ・QU)を有効に活用して、即時対応しながら

実践

	ら生徒指導に生かしている。 ○小中連携し、9年間を見通したキャリア教育について見直しを図っている。								
達成状況	内容(基準)		時期	A	B	C	D	E	評点
	2 お子さんは、夢や希望をもって生活していると思いますか？		H29-04	9.9	63.0	18.5	6.2	2.5	2.7
			H29-12	7.9	66.7	23.8	0.0	1.6	2.8
<p>2 夢や希望を</p> <p>(A:はつきりもっている B:もっている C:あまりもっていない D:もっていない E:わからない) A + B評価は74.6%で、E評価は1.6%となり、目標達成には至らなかったが評価点は0.1上がった。</p>									

自己評価	(評価)	(根拠)	C 評価
	B	<p>○小・中連携意識は深まってきている。小学校6年生による岩城中学校の学習、三本柱等体験も定着してきた。また、今年度も小一中9年間における学習習慣と生活習慣(意和氣チャレンジプラン)を改善して作成し、全戸配布することができた。</p> <p>○学校運営協議会(コミュニティ・スクール)と地域運営協議会を推進し、「小中見学会」は定着しつつある。</p> <p>○『意和氣の力と心でチャレンジ!』をスローガンとして『氣力』を前面に出し、4つのCHを意識化し、志気が高まってきていると感じる。</p> <p>◆特別に支援の必要な生徒が多くなってきている。学校不適応(不登校等)生徒への対応についての課題・問題が多くなってきた。</p>	

評価基準 A: 具体的な活動がなされ目標を達成できた B: 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない C: 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない

学校関係者評価と意見	A 学校運営協議会委員の方の評価で、一番多かった評価です。	<p>○学年が上になる程、成績も上がっており、学校の努力がみえる。</p> <p>○総合的な学習の時間LIFEの発表は、全校生徒がパワーポイント等を使って、自分なりに言いたいことをまとめ、発表していて大変すばらしいと思った。この経験は今後の意欲につながると思う。全校生徒が発表することに意義があると思生ます。</p> <p>○一人一人に対して、きめ細やかに対応してくださっている。</p> <p>○生徒が行事に対して生き生きと積極的に取り組んでいる。</p> <p>○三本柱が定着していて、行動にも表れている。</p> <p>○三本柱やCH活動など、生徒の意欲を上げる取組をしている。</p> <p>○学校不適応の生徒もいますので(多くなっている)、生徒のケアや不適応になる前に早めの対応をお願いします。</p> <p>○三本柱「黙想・自問清掃・全校武道」また、ノーチャイムの成果はあらわれていると思います。生徒として自覚し、大人に近付いていると思います。</p> <p>○「小中見学会」は地域と一体感も得られ、学校経営、学校づくりの情報も得られ是非続けてほしい。</p> <p>○学校生活に満足感と充実感が高まってきていることは何よりであり、それはとりもなおさず岩城中学校の伝統である三本柱の「黙想の時間・自問清掃・全校武道」とノーチャイム制の継続をはじめとする創意工夫された様々な取組の成果であると思われる。</p> <p>○将来を担う子どもたちは「地域の宝」であり、その子どもたちが夢や希望をもって生活するには、まずは心身とも健康であることが大事であり、今後もキャリア教育の充実や「いじめ・悩み調査」をこまめに実施し早期発見・即時対応に努めるとともに、学校不適応の生徒については、今まで以上に保護者との連携を図り少しでも改善できるようお願をいしたい。</p> <p>○いわきの学校だよりを毎月いただき、子ども達の活躍や保護者へのアンケートを拝見し、学校での様子を知ることができて嬉しく思います。アンケートに対しては、先生達の細かな説明やアドバイスに、保護者の方々も納得していることと思います。</p>	C 評価
------------	----------------------------------	---	---------

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	<p>○今年度の取組による生徒の姿勢と成果について高い評価を得られたので、来年度も具体的にさらに目標を絞って取り組んでいきたい。</p> <p>○学校運営協議会における力と心の協力も得ながら、保護者及び地域と双方向のコミュニケーションで、連携をさらに深めていきたい。</p> <p>○特別に支援の必要な生徒や学校不適応生徒の対応について、関係機関とも連携しながら、多面的に取り組んでいきたい。</p>	A 行動
-----------------------	--	---------